

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

'24- ELIMINATOR 400 / SE (8BL-EL400A) POWER BOX サイレンサー (ステンレスポリッシュ / 耐熱ブラック 共通)



<取付所要時間の目安>
約 20分

取付説明書

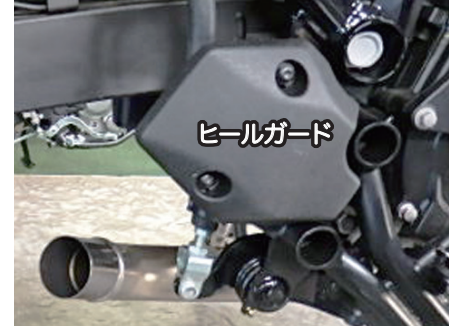
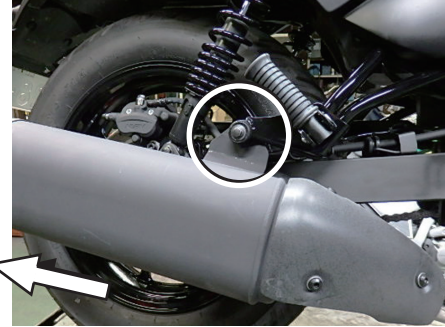
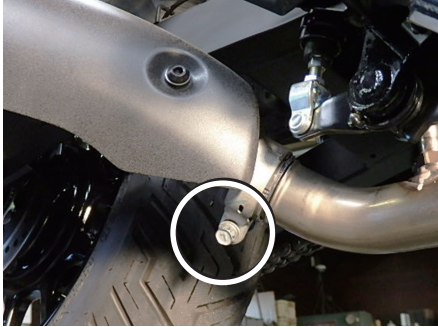
< 商品内容 >

- ① POWER BOX サイレンサー × 1

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とは形状等、一部異なる場合があります。
 ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
 ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

⚠ 耐熱ブラック塗装仕様をお買い上げのお客様へ
 塗装面に手垢など、汚れが付着しない様に素手による作業は行わず、必ず軍手などの手袋をしながら作業して下さい。
 また、塗装面に傷を付けない様にウェスやビニールを巻いておくなど、あらかじめ養生をしてから作業する事をおすすめします。

① 純正サイレンサーを取り外します。



サイレンサー差し込み部のバンドを止めているボルトを緩めて抜き取ります。
 サイレンサー上部を固定しているボルトを取り外します。
 サイレンサーボディを上下左右に小刻みに揺する様しながらゆっくりと車体から取り外します。(取り外したバンドやボルト類は後で再使用します。)

この後の作業のためにヒールガード(2点止め)を取り外しておきます。

② POWER BOX サイレンサーを仮組みします。

※ 写真はPOWERBOXパイプへの組み付け例です。純正エキゾーストパイプへの組み付けでも基本的な取り付け方法は同じです。



ガスケットは再使用、もしくは交換



写真はステンレスポリッシュタイプ



サイレンサーバンドをエキゾーストパイプ側に先に通しておく

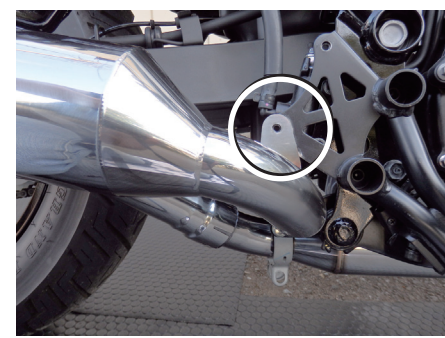
サイレンサー接合部のガスケットを取り外します。
 この後POWERBOXサイレンサーに移植して再使用します。
 ガスケットが著しく傷んでいる場合には新品に交換します。ELIMINATOR専用サイズのガスケットをお買い求め下さい。

POWERBOXサイレンサーにガスケットを挿入します。
 入れ難い場合には無理に押し込まずに(形が崩れてしまいます。)潤滑剤やグリスを塗って滑りを良くするなどして工夫して下さい。

サイレンサーバンドをあらかじめ仮組みしてから POWERBOX サイレンサーをエキゾーストパイプにゆっくりと慎重に差し込んでいきます。あらかじめグリスを塗ってから差し込むと滑りが良くなり、ガスケットを傷めずに入れ易くなります。

サイレンサーガスケット
 カワサキ純正パーツ番:11061-1266

※ 純正パイプとの組み合わせでも、POWERBOXパイプとの組み合わせでもサイレンサー接合部にはジョイントガスケットを使用します。



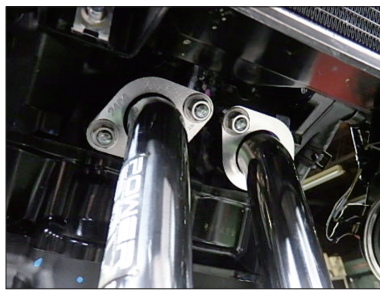
POWERBOXサイレンサー上部を仮止めます。
 取り付けのボルト類は純正サイレンサーに使用していたものを再使用します。

POWERBOXサイレンサーの前側ステーはヒールガードを固定していた下側のネジ穴に固定します。つまり、ヒールガードの内側にステーを割り込ませて共締めする方法になります。

ヒールガードを固定していたネジを活用してステーを仮止めておくのと穴の位置を合わせやすくなります。



穴位置を合わせ難い場合には...



エンジン側の固定箇所(フランジナット4点)を少し緩めてエキゾーストパイプ側も仮止め状態にすると穴位置を合わせやすくなります。

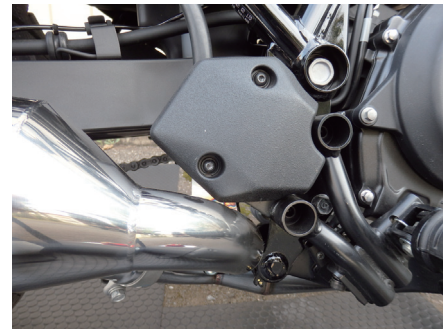
※最後にしっかり本締めする事を忘れずに!



エキゾーストパイプとの接合部のバンドを仮締めします。



POWERBOXサイレンサー内側とスイングアームとの間に隙間が確保されている事を確認します。念の為荷重をかけてスイングアームを動かしながらの確認も行なって下さい。



POWERBOXサイレンサーの前側ステーの上にヒールガードをかぶせて固定します。特に下側の固定穴は穴位置の中心をしっかりと合わせてからネジを締め込んでいきます。穴位置が合わないまま無理に締め込みますとネジ穴を傷めてしまいます。

③ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、各部本締めを行ないます。



【ステンレスポリッシュ仕様の場合】

本締めを終わりましたら、作業中に付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取ります。汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。



【耐熱ブラック塗装仕様の場合】

本締め後、パーツクリーナーなどの有機溶剤を使用して拭き上げる事は絶対にしないで下さい。塗装が剥がれてしまいます。塗装面には汚れを一切付けない様に保護しながら作業を完了させる様にして下さい。汚れが付いてしまった場合には水を含ませ、固く絞った綺麗なウェスで優しく拭き上げて下さい。耐熱塗装は最初に熱が加わる事によって徐々に定着していきますので、マフラー装着後に30分程度の走行によってしばらく熱入れを行なって下さい。走行風で冷やしながら熱入れを行なうことが理想です。ご使用開始間も無い頃にマフラーが完全に冷える前に水をかけたりウェスなどで拭き掃除をすることも絶対にしないで下さい。

④ エンジン始動後、装着状態に問題のない事が確認できましたら作業終了となります。

- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー内部に残った油分や塗料の油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが走行を繰り返していくうちに徐々に収まって行きます。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 製品によってはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はありません。

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。